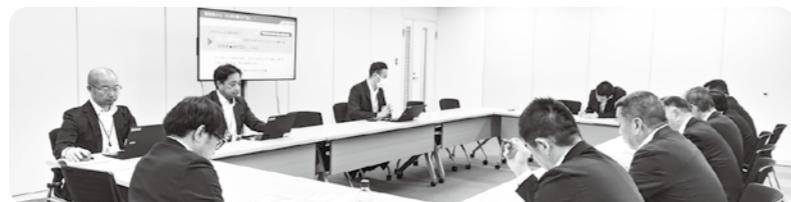


視察レポート 先進地に学ぶ “学びを活かす”議会に!!

令和7年10月28日から30日までの3日間、大阪府岸和田市、兵庫県神戸市、山口県長門市を総務文教委員会で「部活動の今後の在り方」「子どもの学習環境整備・充実の取り組み」をテーマに視察研修を行いました。



部活動の今後の在り方について

多久市では令和7年4月から部活動の地域移行が始まります。しかしながら保護者の経済的負担や大会の出場要件など、今後の完全地域移行に向けての課題があります。

Point! ⚡ 一 兵庫県神戸市 一 [部活動から社会・地域スポーツへ]

ポイントはココ

- 政令指定都市で初の完全移行
- 登録クラブが1,200団体以上で選択肢の多さ
- アスリートタイプから運動の機会の確保、趣味の一環までの幅広さ

視察を終えて…

- 活動団体の登録や管理について行政が担うものの、学校現場から部活動を完全に切り離す新たなモデルであり、今後検討のモデルの一つと感じました。

Point! ⚡ 一 山口県長門市 一 [ピンチをチャンスと捉えて]

ポイントはココ

- 部活動の教育的意義を継承するために行政が直接運営
- 市営の長門スポーツ・カルチャークラブでの運営
- 送迎にスクールバスを活用
- クラウドファンディングによる保護者負担の軽減
- 指導者に行政職員を活用

視察を終えて…

- 市内中学5校で多久市と同規模であり、抱える課題（部活競技や競技人数の少なさなど）共通点がありました。指導者の確保や保護者負担の軽減など参考になると感じました。

子どもの学習環境整備・充実の取り組み

ー 大阪府岸和田市 ー [民間事業者の活用]

Point! ⚡

ポイントはココ

- 放課後学習支援への民間事業者の活用
- 学習支援員の安定的な確保
- 支援初回と2月に行うテストでの効果検証の実施
- 46%の児童が全体の偏差値の向上

視察を終えて…

- 多久市と同じ家庭学習時間不足、基礎学力の定着不足が課題と分析されており、事業が成果として表れている点は参考になると感じましたが、多久市では受託できる民間事業者などの確保について工夫が必要と考えます。

令和7年度 第15回 多久市議会 議会報告会

11月10日
南多久公民館
西多久公民館

11月11日
東多久公民館
北多久公民館

11月12日
納所交流センター
多久公民館

農業問題について

- ・8月7日に「多久市農業の持続的発展につながる取り組み」について農業団体と意見交換。
- ・10月9日に市内の米麦の共乾施設とみかん選果場を視察し施設の現状と今後の更新予定を把握。

観光問題について

- ・9月17日に「多久市の観光資源を活かす取り組み」について観光団体と意見交換。

広報活動

子ども議会

- ・市内義務教育学校6年生7人が参加。

出前授業

- ・議員が先生となって議会の仕組みと活動についての授業。(市内義務教育学校6年生を対象)



地域公共交通について

- ・チョイソコたくは事前登録が必要なことや、利用者数が従来のふれあいバスと比較して大幅な増加でないことから、更なる周知が必要と提案。

定住政策について

- ・子育て費用を軽減する施策。
- ・進学や就職で転出した若者世代をターゲットとした定住施策。
- ・結婚を促進するための出会いの場の創出をする施策の提言。

参加者のご意見

企業誘致

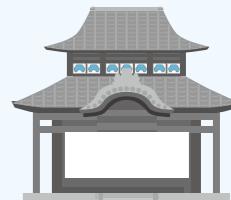
- ・関西万博でのパビリオンを佐賀に移設するという話があるようなので多久に持ってきてアピールできないか。

学校関係

- ・給食費の無償化をしてほしい。
- ・タブレットの宿題がなくなっている。支援員など担当の先生が少ないのではないか。

地域公共交通

- ・チョイソコたくを日曜日にも利用できるようにしてほしい。
- ・病院から帰る際の予約が取りづらいので改善してほしい。



各会場の参加人数～

会場	人数
北多久公民館	14
東多久公民館	6
多久公民館	13
西多久公民館	9
合計	59人